例会 NO 9 5
No 3- 12 1992. 9. 30 発行

1992～1993RIテーマ
まことの幸福は人助けから
RI会長 クリフ・ダクターマン

Tokyo Tama Green Rotary Club

TAMA GREEN TOKYO JAPAN

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992～1993年度クラブ目標 〝地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……〟

第95回例会報告(9/24)

司会 SAA 吉尾警太郎

☆点鐘　会長 赤尾 恭雄

☆ロータリーソング 「日も風も星も」
ソングリーダー SAA 吉沢 洋景

☆会務報告　会長 赤尾 恭雄

＊ガバナー公式訪問について
ガバナー公式訪問を来週（9/30）に控え、クラブ協議会で意見発表を行う各委員会委員長は鋭意その内容について準備中であり、また公式行事の会場設営、管理運営についてもＳＡＡ、親睦合同委員会が開催される等、精力的に進められている。

＊横倉 恒雄会員の委員会所属について。
再入会された横倉恒雄会員の委員会所属は下記の通りとする。
ＳＡＡ委員会及び社会奉仕委員会

☆幹事報告　幹事 遠藤 二郎

＊例会及び例会場変更

東京府中ＲＣ
10/14(水) → 10/14～15日親睦旅行に振替
10/21(水) → 10/23（金） ＩＭに振替
12/23(水) → 祝日休会（天皇誕生日）
12/30(水) → 定款による法定休会
平成５年1/6(水) →新年家族懇親会に振替
於：大国魂神社

東京調布ＲＣ
従来 毎月第１例会のみ
クレストンホテル
調布市小島町1-38-1
☎：0424-89-5000
（調布駅前北口・パルコ８Ｆ）
今後 毎回例会を
例会場：クレストンホテル
時 間：12:30~13:30
ビジター費：￥３,５００.－

＊ガバナー公式訪問。
ＲＩとの数少ない直接的接点であるので、この機会を有意義に持つ様全員参加で臨みたいと思います。又担当者の方はタイムスケジュール通りの進行を心掛けるようお願いいたします。

・ガバナー公式訪問の各会場責任者

①チャリティーゴルフ会場（府中C.C.）
ＳＡＡ・・・足立ＳＡＡ委員長
親 睦・・・橋口親睦委員
Ｒ財団・・・小坂Ｒ財団委員長
社会奉仕・・吉尾社会奉仕委員長

②クラブ協議会会場
（そごう６Ｆ、ホテルオークラ バンケットルーム）
ＳＡＡ・・・佐伯ＳＡＡ副委員長
親 睦・・・杉田親睦委員長

③例会会場
（多摩京王プラザホテル、バンケットルーム）

SAA・・・佐伯SAA副委員長
親　睦・・・杉田親睦委員長
◎3会場総括責任者・・・小島副幹事

＊クラブ協議会について。
・意見発表関連委員会の打合会開催
9/28　PM 7:00　そごうサファイア
（意見発表者全員参加）
・委員会活動四半期報告提出のお願い
チェックリストの取扱いに関して
各委員会が自主的に活動計画をチェックして頂くという趣旨です。
決して理事会又は会長、幹事がチェックするという意味ではありませんので誤解の無い様に願います。その結果を四半期報告として各委員長から提出をお願いしております。
・例会の振替
10月21日の例会を10月23日のＩＭに振り替えます。
当クラブは全員参加（登録）義務があります、是非100%出席を目標に万障くり合わせの上御出席下さい。
分科会の割振りは後日お知らせします。
ＩＭについての基礎知識の説明を１０月１４日の例会にてロータリー情報委員会から再度説明致します。
・10/28、１００回記念例会について
親睦委員会において企画、検討されておりますが、決定次第ご案内いたします。
記念すべき１００回例会ですので全員夫人同伴でご出席をお願い致します。
・理事会開催
野村証券会議室にて例会後開催。

☆委員会報告

★出席委員会　出席委員　海野　栄一

〔出席報告〕（出席免除者2名）

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	４３	３２	3	8	８１.４０%
前回訂正	４３	３４	4	6	８８.３７%

〔今週のメークアップ〕
高野　範城（9/16　城西）
松原　　健（9/18　富士見）
萩生田茂夫（9/22　多摩）
〔欠席届者〕橋口　洋三、今井　正司、
風間　茂穂、北村　幸彦
小坂　一郎、永田　健作、
隅　　耕造
〔欠席者〕　戸田　昭寿、吉原光太郎

★親睦委員会　親睦委員　宮本　誠

ニコニコＢＯＸ

赤尾　恭雄　来週はガバナー公式訪問です。１００%出席でのぞみましょう。
遠藤　二郎　次週はガバナー公式訪問です。全員参加で。
伊神　　稔　前２回欠席致しましたので。
村上　　久　事務局でエアコンをお買上げ下さいましたので。
海野　栄一　ＳＡＡ、親睦委員会の皆様、先日は合同委員会でジーザをご利用戴きありがとうございました。
杉田　　誠　先日は合同委員会ご苦労さまでした。
吉沢　洋景　よい季節となりました。
宮本　　誠　杉田さん暖炉のマキをありがとうございました。薪割り終わりました。
以上合計　　１７，０００円

★雑誌委員会　委員長　小島周二郎

＊クラブの活動を「ロータリーの友に載せよう。
田中会員に第１回目の寄稿を依頼、モンゴルに鉛筆とノートを寄贈した件に関する感想文を8/20日ロ

ータリーの友に提出、掲載は12月以降になる模様。

＊雑誌委員会とロータリー情報委員会にてロータリーの専門用語が判り易く理解出来るようロータリー用語集を作成中。

ロータリー情報委員会の３分間情報コーナー等に参考にして頂きたいと思います。

★国際奉仕委員会　委員　奥木　博勝

国際奉仕委員会の新海委員長と私とでモンゴル大使館にホタックモンゴル科学教育文化大臣（文部大臣）より贈られた感謝状をとりにいって参りました。

これはガバナー公式訪問時にセッティングして皆様にご披露したいと思います。

★ゴルフ部　幹事　伊神　稔

このところ登録のかたで一週間、数日前になっての欠席等がありますが、対外的に名前の打込み、予約金の払込等裏方として苦労しておりますので出欠の連絡は早めにお願い致します。

9/25（金）５クラブが読売ゴルフクラブ
9/30（水）当クラブ親睦ゴルフ大会
　　　　ガバナー公式訪問記念
　　　　プロ８名出席
10/5（月）９クラブ親睦コンペ
　　　　多摩カントリークラブ
　　　　分区代理も出席

登録の方は万障繰合わせの上、間違いのないようにお願いします。

★社会奉仕委員会

☆ビデオ観賞

――エイズ撲滅運動――

社会奉仕委員長
菊地　敏

今回は卓話に替え、社会的に問題となっているエイズについての正しい認識を深めるためビデオ観賞を致しました。

☆国際ロータリー第2750地区派遣交換学生☆
野沢麻衣子さんの近況報告(9/7)

初めは長すぎると思っていた３ヶ月の夏休みもあっという間に過ぎてしまい、８月25日からまた学校が始まりました。こちらでは夏休みの間なんの宿題もありません。

Senior（高３）にもなると、ほとんどの生徒が夏休みの間にjob（アルバイト）を持ち働きます。これは多くの学生が自分の大学のお金を自分で払うためです。こちらの大学も日本とそんなに変わらないほどお金がかかりますし、ほとんどの人が寮に入ります。

学校では毎日ほとんど全ての科目から宿題が出され、次の日までにやらなくてはならなく、小テストもたびたび行われ、一日でも休むととり返すのが大変です。授業と授業の間は４分間で教室を移動し、30分の昼休みがあるだけです。

私は今テニス部に入っているので放課後６時間目が終わると同時にすぐ着替えて練習です。部活動も日本のように３年間同じ事を続けるのでなく、季節毎に違ったスポーツを選んでできます。こちらのシステムでは、色々なことにチャレンジして自分を試して見たりできますし、自分の好きな事を見つけるよい機会にもなります。また新しく20人くらいの各国からの留学生が仲間入りしました。みんな英語がとても上手で、今だに苦しい思いをしています。

★海外レポート

田中会員よりアメリカ旅行の楽しい話をして頂きました。

【趣味とマネージメント】

会員　奥木　博勝

諺（三）“岩魚の石飲み”

福島県会津の秘境、檜枝岐（ヒノエマタ）川、源流部の岩魚釣りでの体験。

釣った魚は何を食しているのか、また新鮮さを保つため（内蔵を出して川底の冷石をつめ、フキの葉でくるんで、風通しのよい竹籠（タケカゴ）に入れる）一匹、一匹腹をさくが、その日は

皆腹が異様に膨れ、胃の中には小石や砂利がびっしり。いつもなら、川虫や昆虫が一杯なのにおかしい？おかしい？予定の数も終え、納竿して林道をテクテク。滅多に人に出合ったこともない山奥、源流部なのに一匹の犬を連れた70歳は超えたと思われる老人にバッタリ。夕方のやや薄暗い林道での出会いなので、お互いに一寸ビックリ。でもすぐに会話が始まり、林道に腰をおろし、リュックサックから残った菓子と、ポットのぬるくなったお茶で、たちまち即席の宴会場ができあがり。

ご老人も久しく人と話しをしていないとのことでしたが、ぼつりぼつり語るには、定年を境に世の中が煩わしくなり、世捨て人となって山に入った。住家を「ひと山むこう」としか言わない。岩魚の話しになり、今日の「腹に小石がいっぱい」を伝えると、老人はニコニコして「今夜は大雨だよ」、「早く山を下りなさい」と忠告してくれた。

その夜は……もちろん経験したことのないような激しい雨。

後日、釣本で、上流部に棲む山女魚、岩魚は天変を予知し、大雨で大水が出て流されないために、小石を飲み魚体を重くして川底の隠穴に潜る智恵があると書いてあった。真に貴重な体験を身をもって知りました。そしてこのことを知っていた老人……今どうしているかな……。

教訓……

成功の度合いは、その準備に比例する。

◆

諺（四）“不安あれば大釣あり、されど大釣あれば災いあり”

連日の晴天、降水なし。４月だというのに気温は上がらず、風強し。おまけに睡眠不足で体調悪し。条件全て悪く、行先きを山梨県須玉川の近場に変更。友人と車中で「水量は、気温は、風は」と不安一杯でした。

目的地に到着、予想どおり水量は少なく、石も凍るほどの激寒……。エサの川虫も取れず最悪！持参のキジ（ミミズ）で無駄と思いつゝ一投、二投。ググーッ、やゝ小振り（５寸ほど）なれどサビ（冬の間、エサも追わず、じっとしているため魚体全体が黒いこと）も取れた山女魚。「やったー」の声で、あきらめて岩の上で一服していた友人も慌てて一投、見事八寸の山女魚。18年間の息の合った得意の“交互釣”（ひとつの川をワンポイントづつ２人で交互に釣ること）で２時間で掟どおり10匹づつ。ふっと我れにかえりビックリ！あたり一面真っ白ではないか。雪が降ってきたのも気付かず無我夢中で山女魚を追っていた釣馬鹿２人。慌てて身支度。「早く車に戻ろう」あせる気持が、先ずスッテン、友もコロリン。魚籠（びく）がやけに重い。車に戻ったが、さあ大変。スリップして発進できず、タイヤチェーンは３日前にトランクからおはらい箱。約１時間、必死の思いで脱出成功。車中のヒーターで暖をとり、やっと笑顔で一服。慎重に下山走行したが……「ストップ」の大声で急停止。なんたること、崖崩れ、落石。直径40センチ位の石が行く手を塞ぎ、ここで30分の無賃労働。四苦八苦して山を下り、県道まで来れば雪も少なくひと安心。「条件悪く、あきらめてる時に予想外の大釣、渓流釣ってわからないなあ ー。でも良いことばかりは続かない気を付けよう。」と分かったような反省会。

中央高速も無事、国立インター着。「ドッスン」、追突され、やれやれ。

おまけ。翌朝会社への電話、「スミマセン……熱が高いので休ませて下さい。」

教訓……勝って兜の緒を締めよ　　オワリ

会　　長：赤尾恭雄　副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
幹　　事：遠藤二郎　杉田　議・佐伯和廣・隅　耕造
会報委員長：奥田文夫　小島周二郎
※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463／FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30